

「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ
Theme

「音楽物語『こわれた千の楽器』」

学校・園名
School name

草津市立常盤小学校（4年生）

講師等
Lecturer etc.

WITH(アートNPO)

実施日
Date

平成24年7月4～18日

教科等
Subject etc.

音楽

授業 Class

児童たちは、国語で「こわれた千の楽器」(物語)を学習した後、講師の方にコーディネートしていただき、この物語に合唱等を組み入れた音楽物語の学習をさらに進めました。そして、学習参観日に保護者と物語の作者の方に発表をする(観ていただく)という目標を立て、歌の指導にもプロの講師の方に来ていただき、学習を重ねました。大きな声で歌うのが得意な児童たちでしたが、講師の方の「こわれた楽器の気持ちになると、どういう歌い方になると思う？」などの問いかけに、国語で考えた気持ちや場面の様子を思い出すと、場面によって歌い方がどんどん変わっていきました。

発表当日、児童たちは学んだ成果を発揮して最高の発表が出来、会場は割れんばかりの拍手に包まれました。発表後は、作者の方に物語を書いた時のことなどをお話していただき、児童たちのたくさんの質問にも丁寧に答えていただきました。 ※国語「こわれた千の楽器」…作者は滋賀県在住の野呂 昶^{のろさかん}さん



感想 Impression

児童より Impression from Children

- 講師の方に来ていただいた練習は、とても楽しく出来ました。ありがとうございました。「こわれた千の楽器」は国語で学びましたが、演じたり歌ったり出来て、とても嬉しかったです。
- 振り付けや歌のアドバイス等いただいたおかげで、こんなに楽しい音楽発表会が出来ました。嬉しかったのは、「みんな上手だから練習しなくても大丈夫です。」と言っていたいた歌があったことです。その言葉で私たちは自信が持てました。今日は教えていただいたことを生かして素敵な発表が出来ました。
- 今日は、発表を観に来てくださり、ありがとうございました。発表を観ていただくために、4年生全員で一生懸命頑張りました。頑張ることしか思っていませんでした。楽しく出来て良かったです。

学校より Impression from school

本番当日を迎えるにあたって、始めに思っていたものよりも、どんどんプラスされていき、子どもたちもすごく意欲的に生き生きと頑張っていました。とても楽しく思い出に残る発表となったようです。時間がない中で大変と思うこともありましたが、発表の時の子どもたちの生き生きとした表情とお家の方の感想文を見ると、「やって良かった！！」と思いました。

作者の方より Impression from author

このお話は、楽器たちが、壊れていることを否定するのではなく、お互いに補い助け合いながら、もう一つの美しい音楽を創りあげていくというお話です。今、色々な問題がありますが、人間社会でも弱者(じゃくしゃ)を排除するのではなく、相手の立場、気持ちを考え、思いやりを大切に子どもたちに育ててほしいです。発表は、とても生き生き取り組んでいて、声が会場に響いていて、歌によせるみんなの思いが伝わってきました。とても素晴らしかったです。

講師の方より Impression from lecturer

作者(滋賀県在住)の方の作品を音楽物語にしたこのプログラムを取り入れてくださったことを大変嬉しく思いました。先生方の思いを形に出来て、嬉しく思います。子どもたちがとても元気で、絵本と同じようにみんなで力を合わせられたと思います。